

# アドベント

知っておきたいキリスト教のことば (9)

このアドベントという言葉はラテン語の Adventus（到来）という語から来たもので、ギリシア語のエピファネイアと同義です。エピファネイアという語はキリスト教においては、人間世界へのキリストの到来や再臨をあらわします。



またアドベントという言葉自体は、西方教会ではクリスマス前の一定期間を意味します。聖公会では降臨節、カトリックやルーテル教会では待降節と呼びますが、キリストの降誕を迎える準備をする期間として大切にしています。

アドベントの開始日は年によって違います。11月30日を「アンデレの日」として記念している教派もありますが、アドベントはその11月30日に最も近い日曜日から始まります。そのため、一番早く始まる年は11月27日から、遅い時には12月3日からとなります。アドヴェントカレンダーは大抵1から始まりますので、年によっては4日間お預けを食ったり、最初の日に3箇所めくらないといけなかったりもします。

そしてアドベントの終わりはクリスマスイブです。なおアドベントの期間には、断食や禁酒をしたり、結婚を禁止したりすることもありました。今でも伝統的な教会では、この期間、結婚式はおこなわないそうです。これらの習慣は、東方教会で1月6日に洗礼式をおこなうために、その前の期間断食したことに由来するとも言われます。またイエス様をお迎えする前に悔い改めるといった意味もあったようです。

わたしたちはアドベントの期間、イエス様のご降誕を待ち望みます。そして、イエス様がまたやって来ると言われたイエス様の再臨を待ち望むのです。その二つの意味において、わたしたちは心を整え、待ちわびる。それが「アドベント」なのです。

次回は「憐れみ」です。お楽しみに。